

3.18.2 国際推進部門 国際連携推進室

室長 小山泰弘 ほか4名

研究開発環境のグローバル化を推進

【概要】

NICTの国際競争力を強化するためには、海外の優れた研究機関等との連携・協力を積極的に推進し、国際的に開かれた環境にて研究開発を実施する「研究開発環境のグローバル化」が重要である。

国際連携推進室では、NICTが海外の研究機関等との協力関係を構築し、更には研究交流及び研究連携が促進されるよう、これら研究機関等との研究協力覚書の締結に積極的に取り組むとともに、この覚書を基礎とした国際共同研究、研究者やインターンシップ研修員の受け入れ、ワークショップ等の研究集会の開催等の施策を推進している。また、NICTの研究活動の認知度を向上するための国際広報活動を行うとともに、NICTの研究開発に資する海外の研究開発動向についての情報収集・調査分析を、海外連携センターを最大限に活用して行っている。

【平成26年度の成果】

(1) 国際連携活動の推進

① 研究協力覚書の締結

情報通信分野における研究開発を実施している大学や研究機関を中心に新たに国外17機関との間で研究協力覚書(MOU)を締結した。中でも、ドイツ航空宇宙センター(DLR)はドイツ国における航空技術及び宇宙開発を担う政府機関であり、新たなMOUの締結によってワイヤレスネットワーク研究における日独共同研究の実施につながった。さらに、平成26年度においては、平成25年度に引き続き、東南アジア諸国との国際連携を重視し、これまでMOUの締結のなかったカンボジア郵便・電気通信・情報通信研究所(NIPTICT)とフィリピン情報通信技術局(ICTO)とMOUを締結したほか、マレーシア工科大学(UTM)、ハノイ工科大学(HUST)(図1)及びその傘下のマルチメディア情報・応用国際研究センター(MICA)とも新たにMOUを締結した。また、既に締結されているMOUを更新し、平成26年度末現在で有効なMOUは25カ国91機関となった。MOU締結機関の間では、セミナーやフォーラムなどの研究集会を共同で開催し、情報交換・人材交流を図ることによって具体的な研究連携へと発展させている。

また、昨年度に引き続き、タイ国バンコクにおいて東南アジア諸国のMOU締結機関とNICTのトップ及び幹部らが一堂に会したASEAN-NICT ICT Roundtable 2015(図2)を開催してグローバルなアライアンスの構築に積極的に取り組んだ。この会合でNICTが提唱したICT Virtual Organization of ASEAN Institutes and NICTは、参加者全員の賛同が得られ、新しい共同研究プロジェクトの形成に向けたオープンなイノベーションプラットフォームの枠組みが設立された。今後、この枠組みのもとでの司令塔となるステアリングコミッティーを立ち上げて、参加機関からの研究計画の提案をもとに新たな共同研究プロジェクトの形成に向けて作業を行っていく予定である。



図1 HUSTとの研究協力覚書の締結
(平成26年7月17日)



図2 ASEAN-NICT ICT Roundtable 2015
(平成27年2月26日)

② 人材交流

平成26年度は、中国、タイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、カンボジア、シンガポール、米国、英国、フランス、ドイツ、イタリア、オーストリア、オーストラリアの14カ国21機関から25名のイン

ターンシップ研修員を受け入れた。また、外国籍研究者が研究活動を行う上での支援策として専門の日本語講師による日本語研修の実施や、職員への周知案内の英語化を行うとともに、海外から採用して初めて日本に居住する研究者の住居の契約をサポートする制度を新たに整備した。

③ 研究交流集会の開催・国際広報活動の推進

MOU を締結している機関との具体的な連携の一環として、表 1 に示すように多くの研究交流集会を開催した(図 3、4)。また、安倍総理のイスラエル訪問への同行や、総務省主催によるコロンビア、エクアドル、ウズベキスタンとの官民合同 ICT 国際セミナーへの参加など、政府のイニシアティブの機会を積極的に活用して、NICT の研究成果を効果的に発信するように努めた。

表 1 MOU などに基づき開催した国際研究集会

4th U-STAR Workshop in Europe, ICASSP 2014	平成 26 年 5 月 7 日	イタリア・フィレンツェ
NICT-NIPTICT Joint Workshop	平成 26 年 6 月 17 日	カンボジア・プノンペン
YTU-UCSY-MCF-NICT Joint Workshop 2014	平成 26 年 7 月 7 日	ミャンマー・ヤンゴン
1st Workshop on Convergence of radio and optical technologies	平成 26 年 8 月 22 日	タイ・バンコク
4th International Workshop on Cyber-Physical Cloud Computing	平成 26 年 8 月 27～29 日	大阪
5th U-STAR Workshop in Asia, Oriental COCODA 2014	平成 26 年 9 月 12 日	タイ・プーケット
2nd Workshop on Convergence of radio and optical technologies	平成 27 年 1 月 15 日	マレーシア・クアラルンプール
NICT-IPR Joint Workshop	平成 27 年 1 月 20 日	シンガポール・シンガポール
NICT-UK Cyber Security Academic Centres of Excellence MOU Signing Ceremony and Workshop	平成 27 年 2 月 9・10 日	東京
ASEAN-NICT ICT Roundtable 2015	平成 27 年 2 月 26 日	タイ・バンコク
NICT-Unitec Workshop	平成 27 年 3 月 26 日	ニュージーランド・オークランド



図 3 NICT-NIPTICT 共同ワークショップ



図 4 YTU-UCSY-MCF-NICT 共同ワークショップ

(2) 海外連携センターにおける情報収集と情報発信

各海外連携センター(アジア連携センター、北米連携センター、欧州連携センター)では、有識者や専門家との人脈を形成して現地では入手できない貴重な情報の収集と分析を行い、これらをいち早く NICT 内での研究活動に活かせるように提供している。また、NICT 内の要望に基づいてテーマを定めた動向調査を実施しており、平成 26 年度には表 2 に示す 7 件の調査報告書を取りまとめ、関係の研究者のニーズに即した情報提供を行った。

表 2 海外連携センターで実施した動向調査の調査報告書

国際民間航空機関 (ICAO) の気象情報利用等にかかる関係研究機関の動向調査 (平成 26 年 7 月)
U-STAR の技術展開先の調査 (平成 26 年 11 月)
東南アジア諸国での電力・通信インフラ整備状況及び経済特区の調査 (平成 26 年 11 月)
第 5 世代移動通信 (5G) における周波数資源活用技術・動向調査 (欧州:平成 26 年 12 月) (北米:平成 27 年 2 月)
プライバシーに関する欧州プロジェクトの成果及び経過動向に関する調査 (平成 27 年 2 月)
東南アジア地域における気象レーダの整備状況の調査 (平成 27 年 2 月)
アクセス網インフラの動向調査 (平成 27 年 3 月)